

A young woman with short brown hair and bangs, wearing a white short-sleeved shirt with a red bow tie and a black pleated skirt, stands on a brick path. She is holding a blue book with both hands and looking directly at the viewer with a shy expression, her cheeks slightly red. The background shows a sunset sky with orange and yellow hues, green trees, and a building in the distance.

スキって、言ってくれないね。



ちょっと天然だけど、言葉遣いが綺麗で、頭も良く、明るくて、牙えない僕に、優しく接してくれる彼女に、惹かれていた

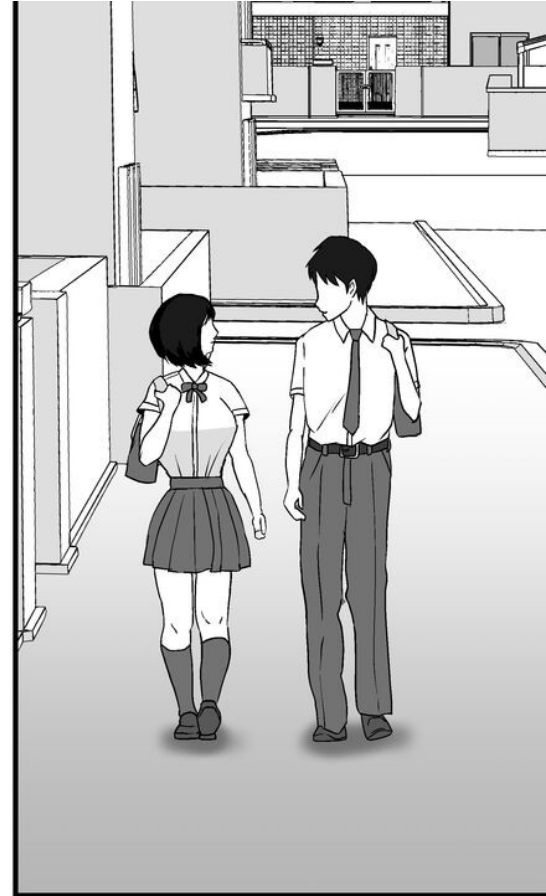
はいこれ、素敵な本なので読んで見てください

彼女は前田果穂
クラスで一番人気のある女の子。読書をしていた時、彼女が話しかけてくれて、それから仲良くなった

下校時に、自分たちが好きな本を貸し借りしている。僕は、この時間が大好きだった

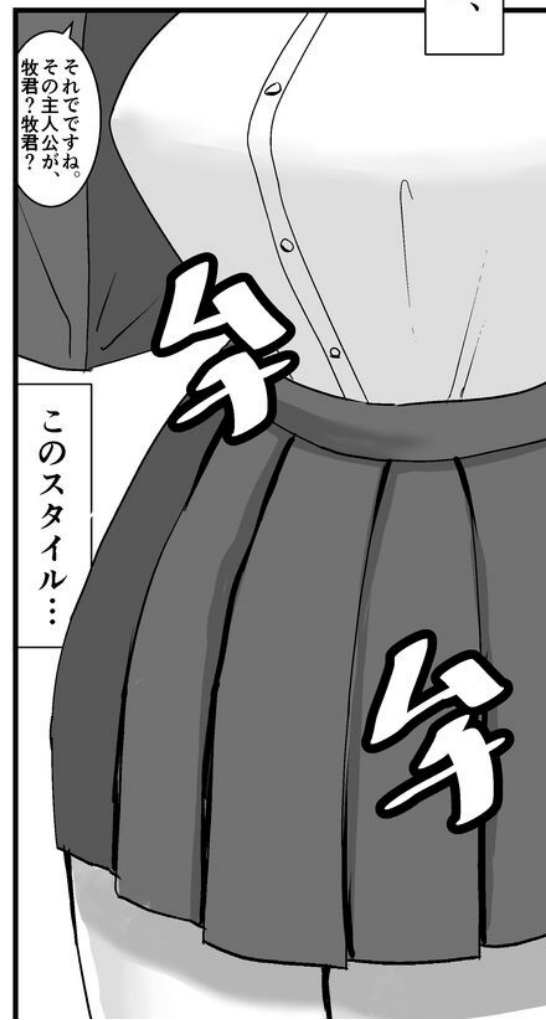


牧君！
聞いていますか？



カー

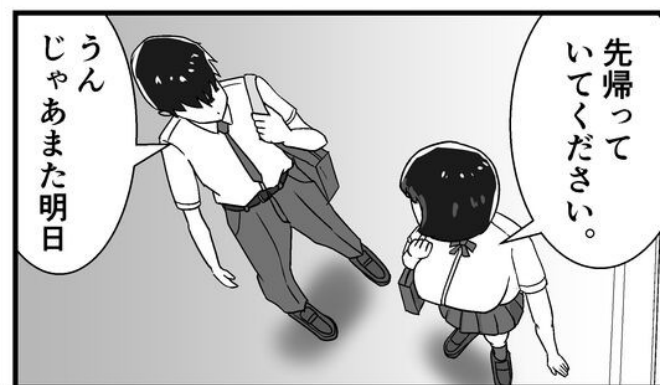
それに、



それですね。
その主人公が、
牧君？牧君？

このスタイル…







前田さん。ごめんごめん
部室行くの面倒だったから、
教室で着替えてたんだ。
気にしないでいいよ

相変わらず可愛いな。



そっそんなこと言われても
気にします！あつ！
私、着替えが終わるまで
外で待ってますね。



この反応もたまらない
ちよつとからかってみるか



キャーなんで
近づいてくるんですか!?

ヤマ

そういえば、前田さんって
いつも牧と喋ってるよね
付き合ってるの？



まあ、あんなのと
付き合うわけないけど

えっ？付き合って
ないですけど

そりゃ
そうだよな



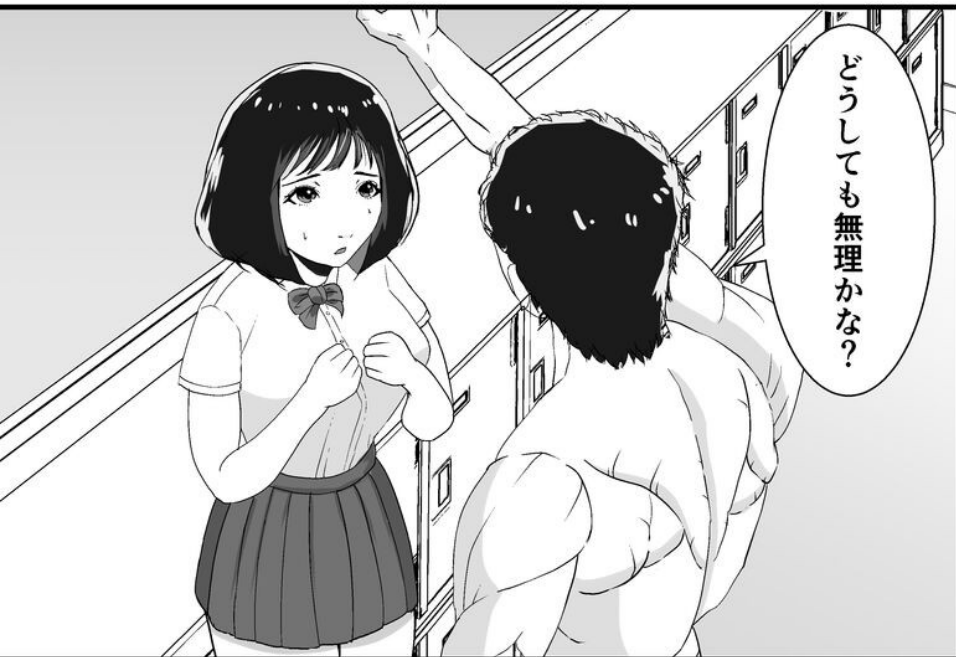
じゃあ、
好きだったにして







まだ付き合っていないんだっただ
俺にもチャンスあるよね
前から前田さんの事好きだったんだ
本当だよ



どうしても無理かな？

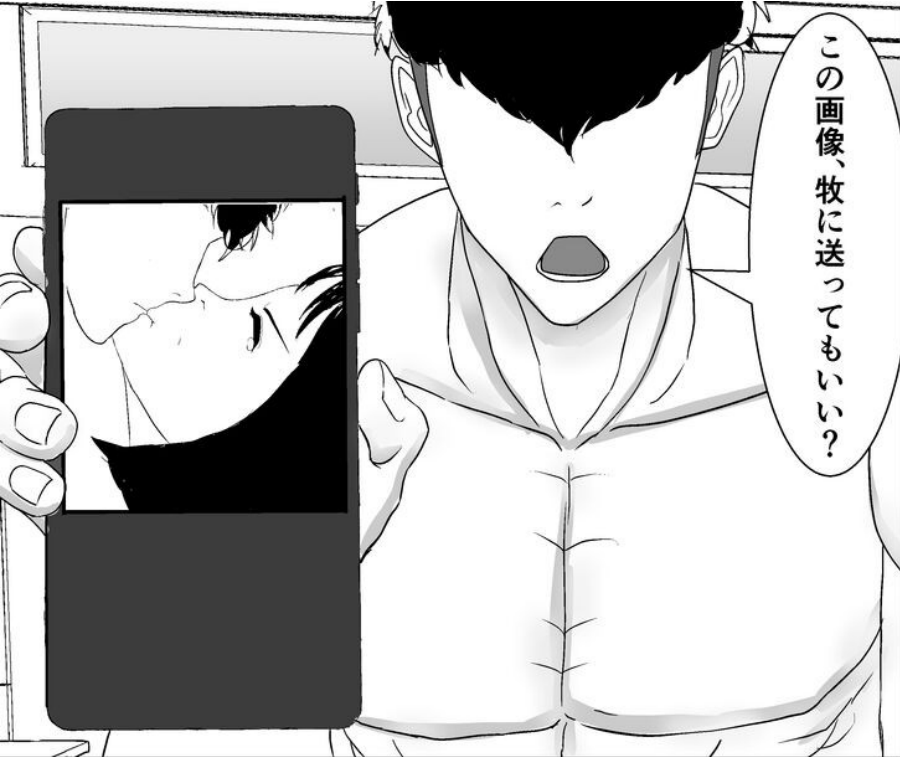


わっ、私は、牧君の事が
好きだから無理です。
ごっごめんなさい



本当にごめんなさい。







いや!

いつも制服パンパンにしておっぱい見えるなんて興奮してきたよ

ぐりん

カマー

はっ恥ずかしいので見ないでください!



舌が、入ってくる...

ぬぬ
ろろ



ちゅちゅ
ぬちゅ



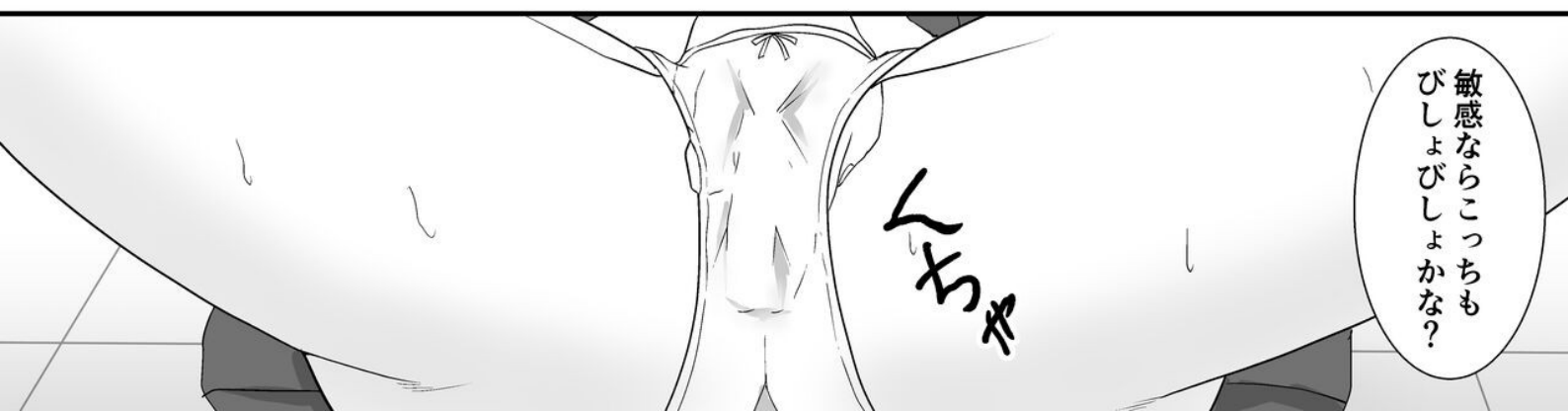
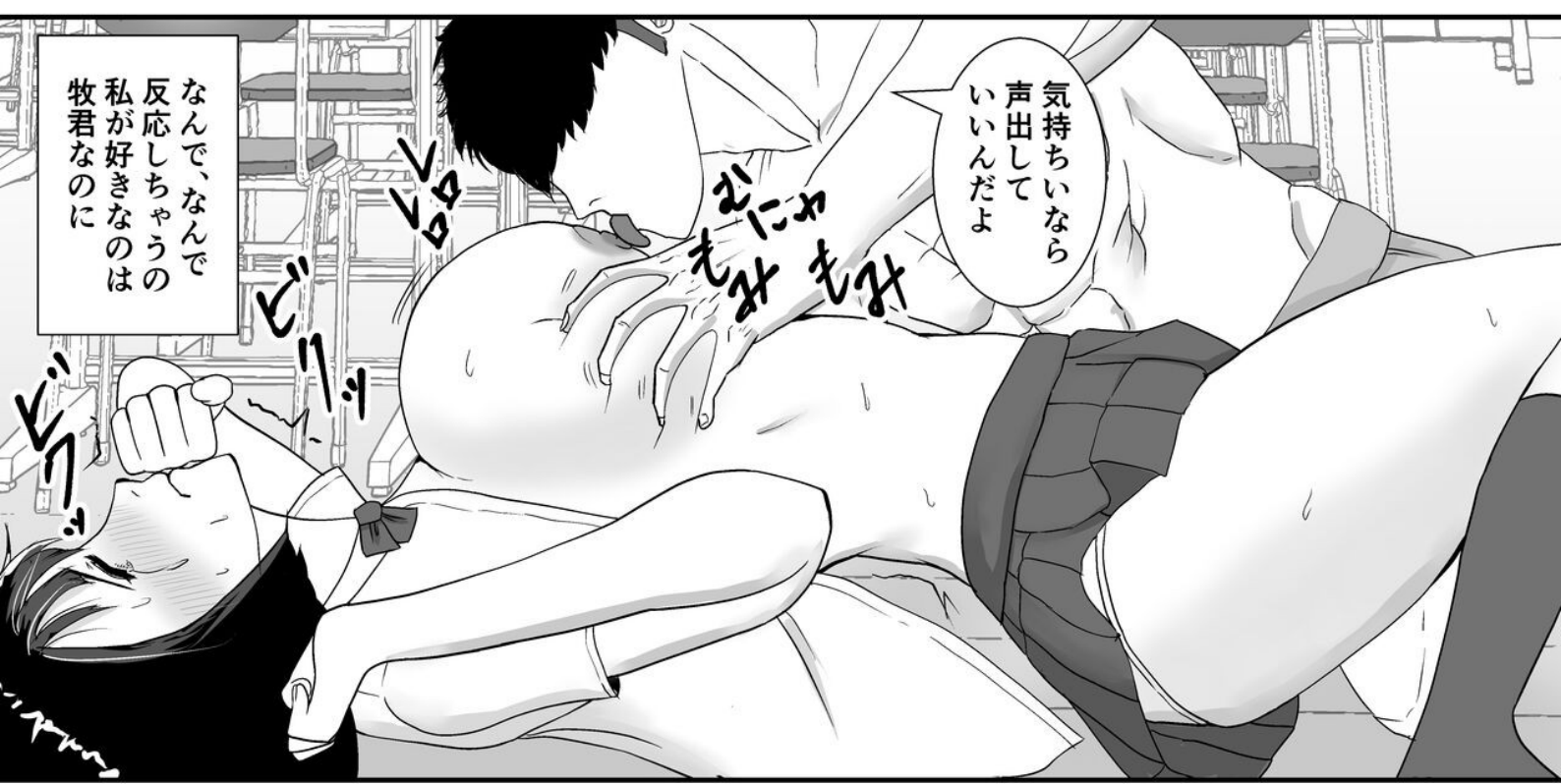
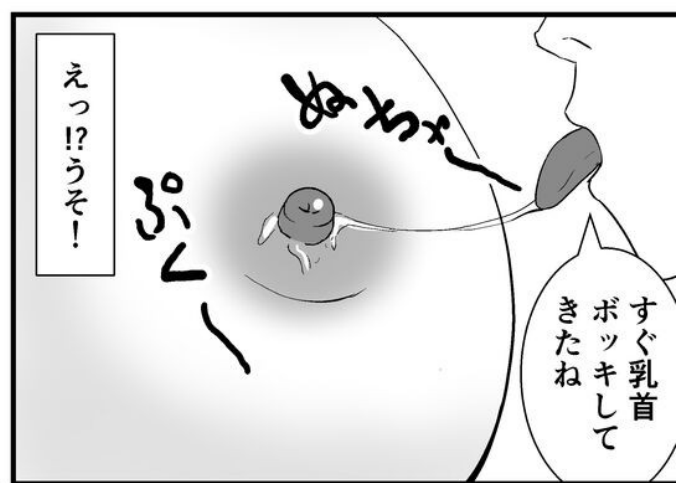
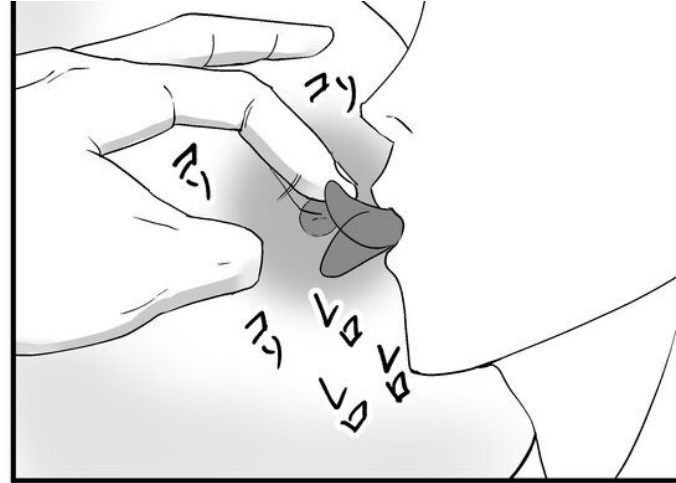
はーはー

くちゅ



ぐりん

すげー形、ハリ、大きさ完璧だよ。たまらない





やっぱり
めちゃくちゃ濡れてんじやん！
ツルツと中に入っちゃったよ
これなら早く動かしても
大丈夫そうだね



あ、
なんで私、
声なんか

こっこれは、
ちっ違います！



ちょ
ちよっと
待って！

自分がされてる
とこ見ててね。

クチャ

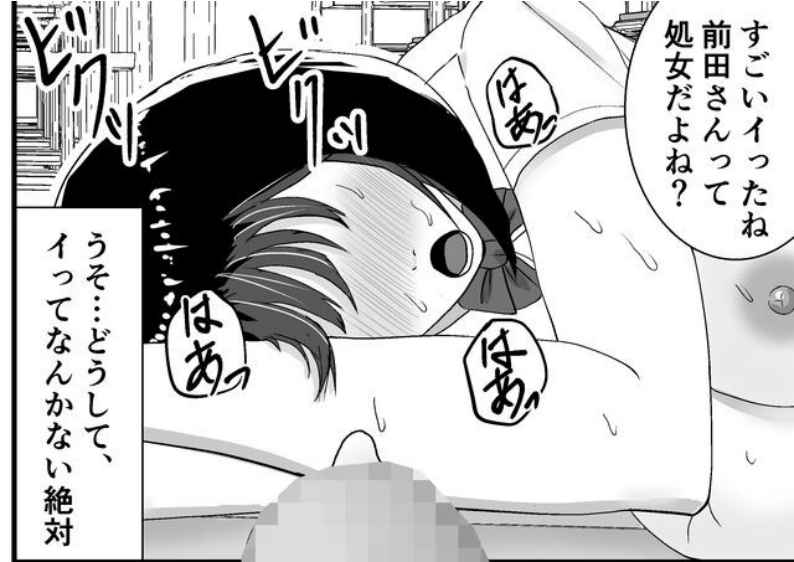
やっと、声出してくれたね！
そんなに気持ちいいんだ





ああ、あった。
確かゴム
一個余ってたんだよね。

ゴ
ム
ゴ
ム



すごいいったね
前田さんって
処女だよね？

うそ...どうして、
イってなんかない絶対



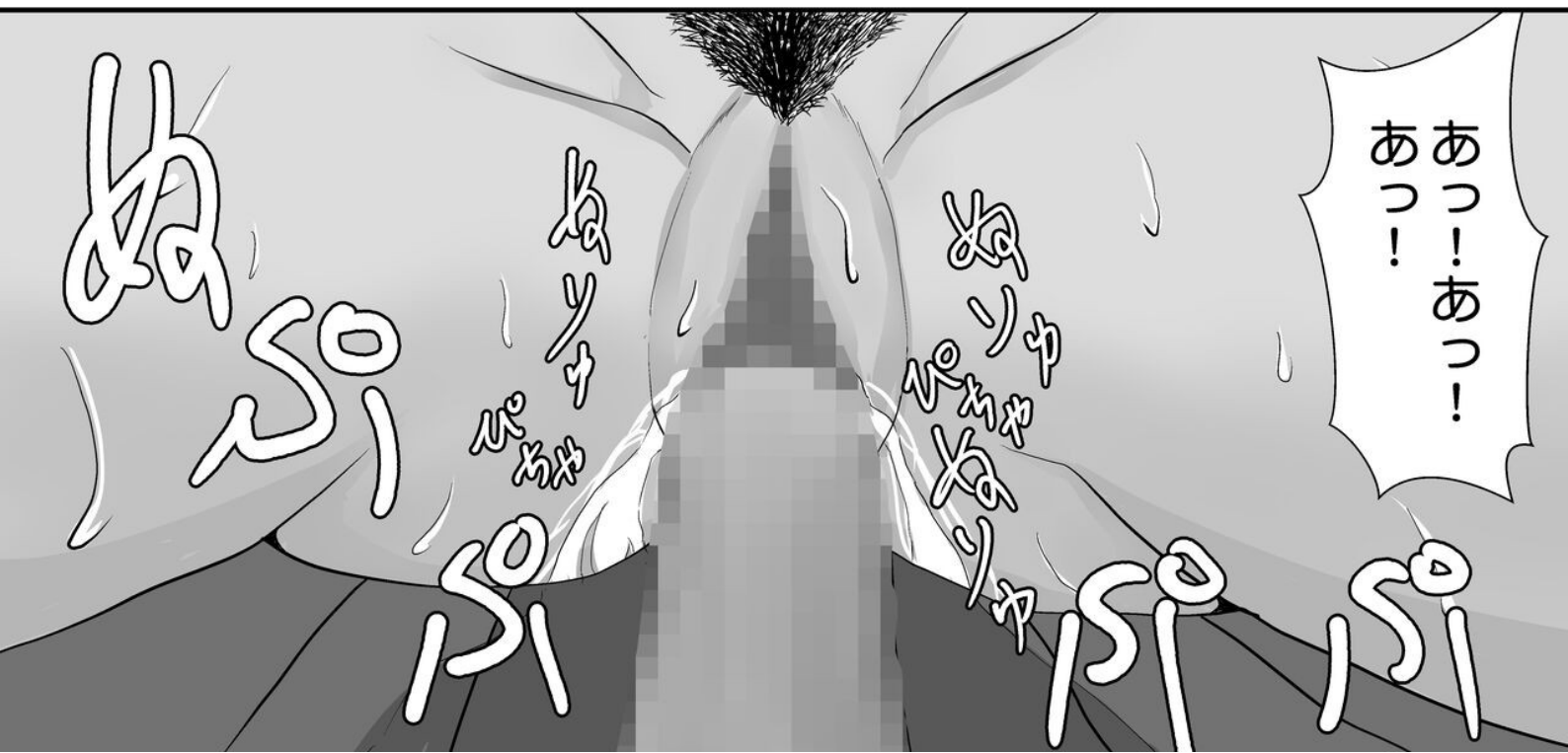
痛くないように
するからさ、大丈夫だよ

無理です！
そんなの入りません！



え！何これ、
こんなに
デカイの
入れるつもり？

ビ
ン



あつ！あつ！
あつ！

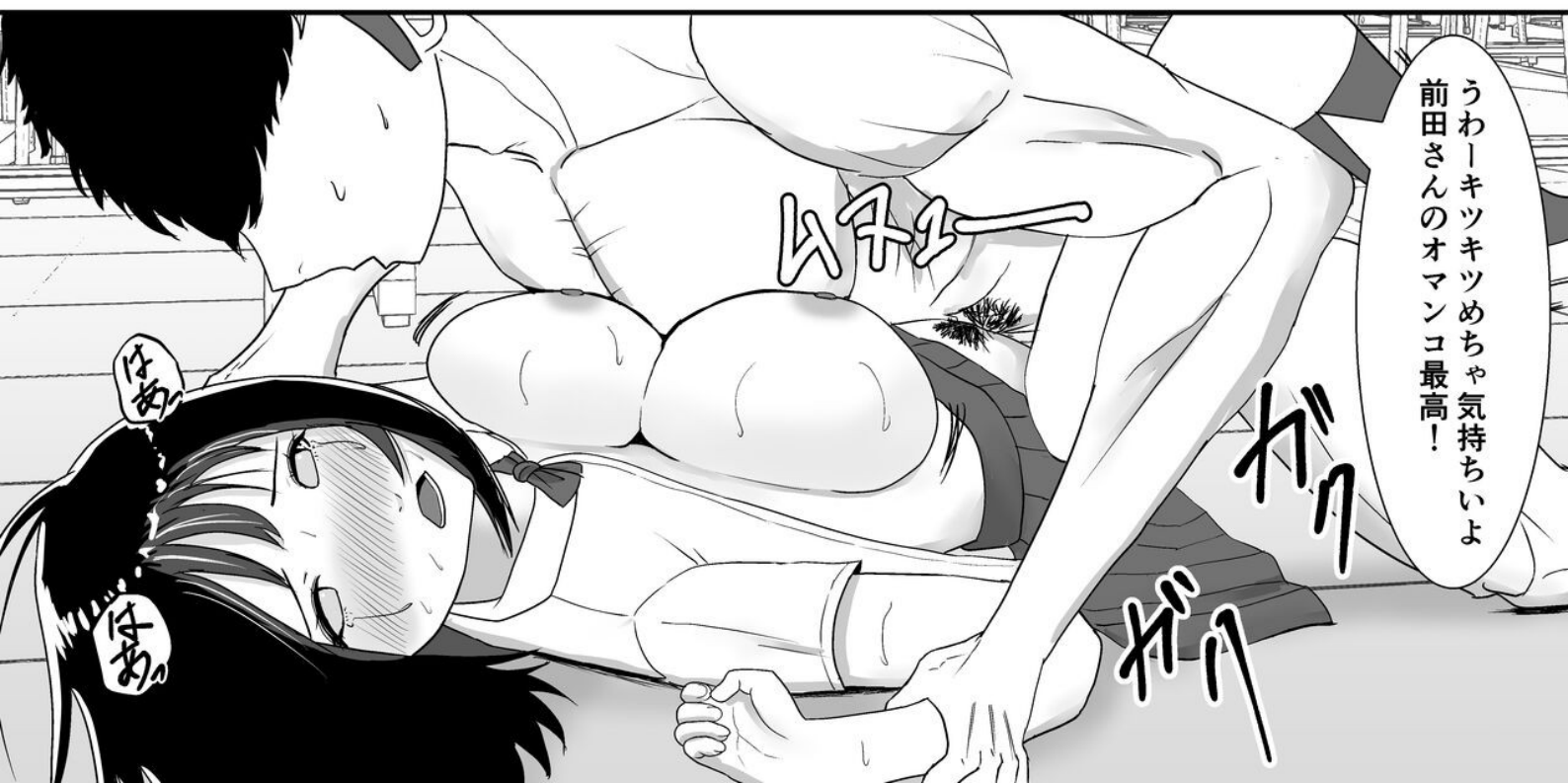
ぬ
ん
ん

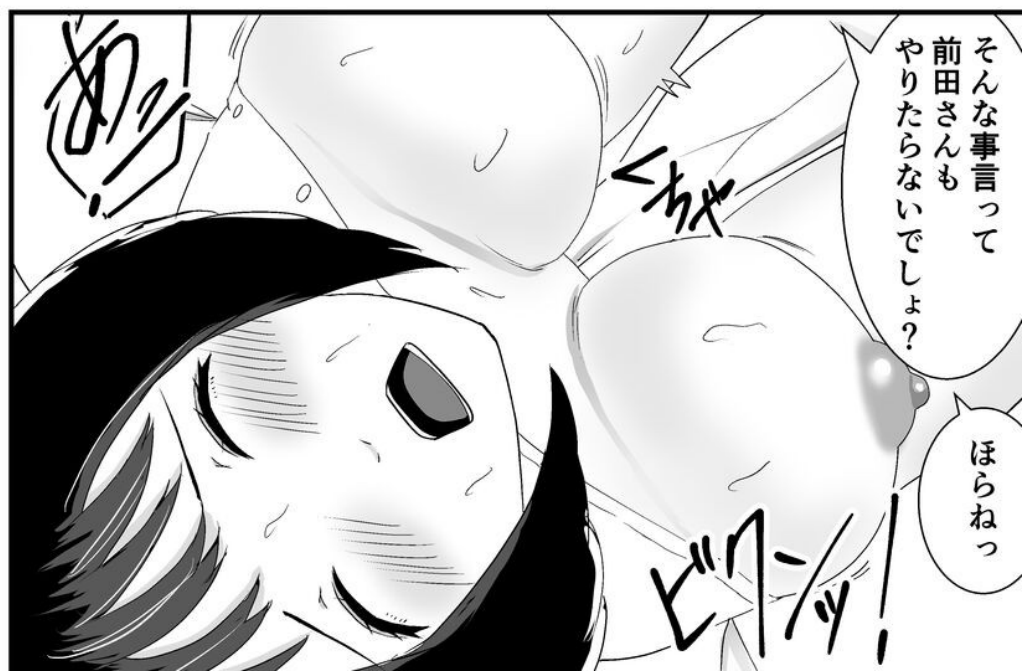
ぬ
ん
ん

ぬ
ん
ん

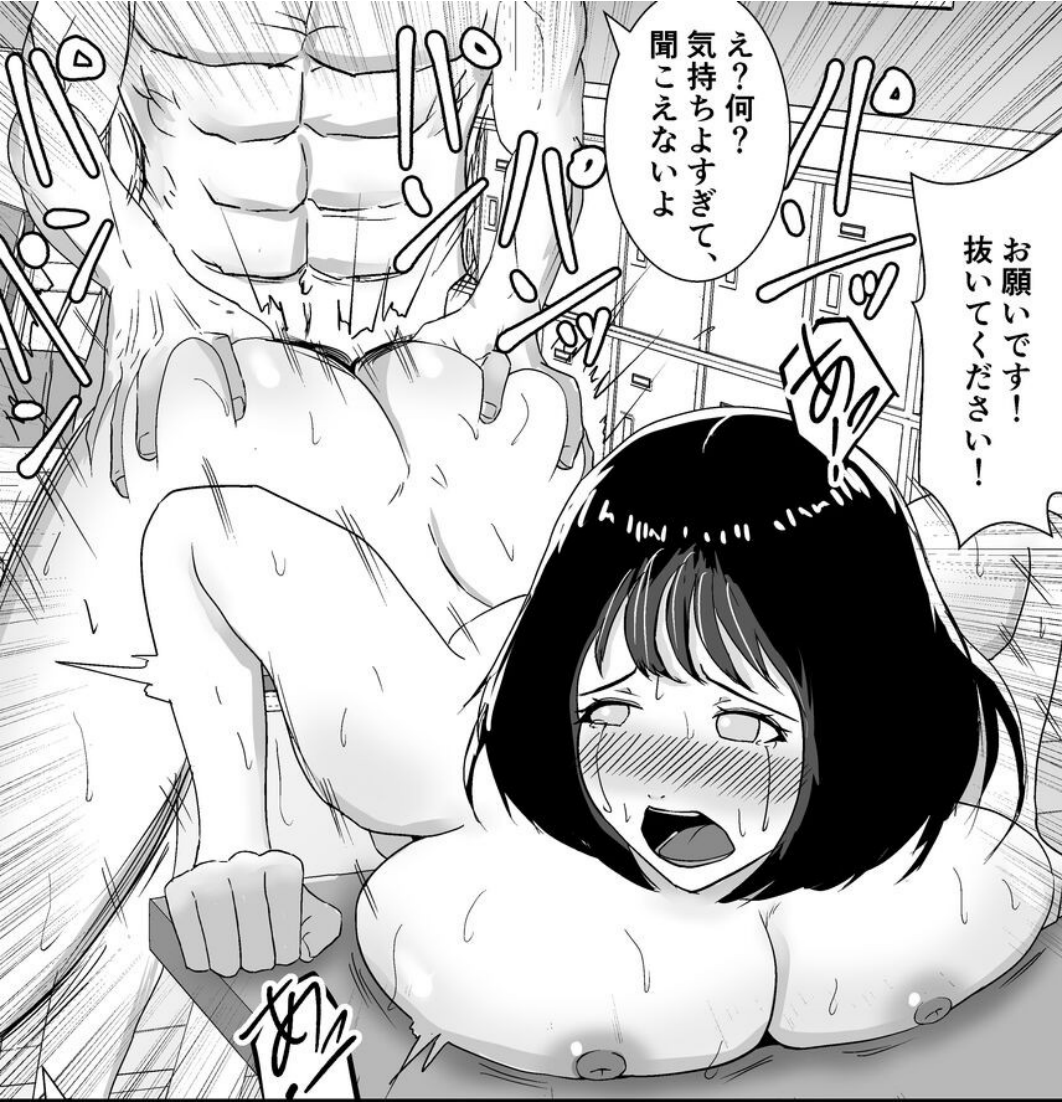
ぬ
ん
ん

ぬ
ん
ん

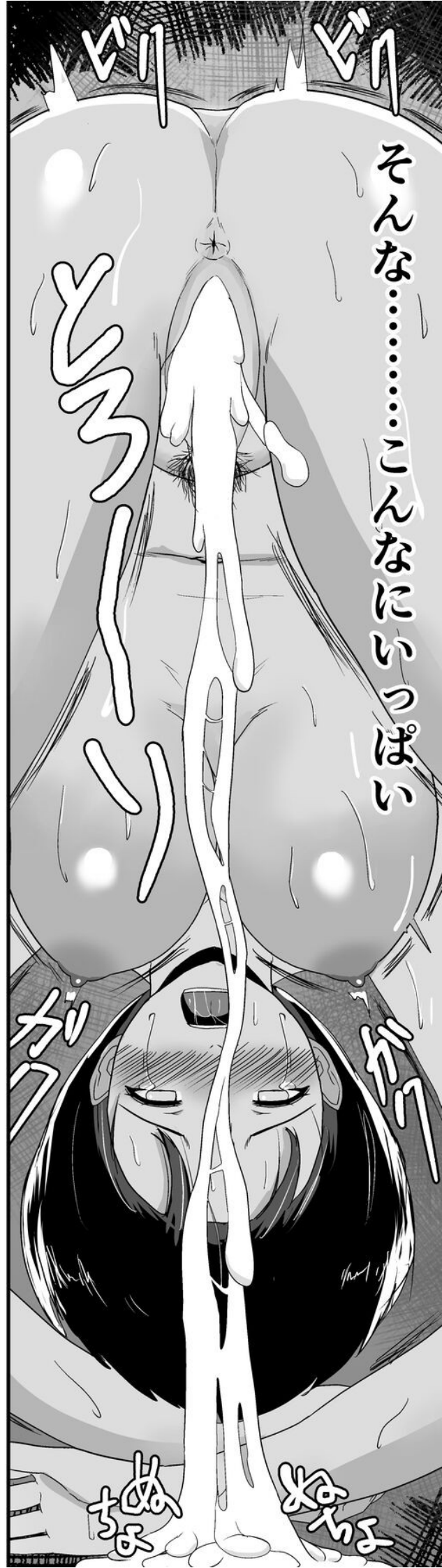












えっ!?
この机って



そう牧と
前田さんの机だよ。
二人の液で
牧の机を孕ませよう

ぼん!

何いって
はうっ!

がッ



おっお腹まで伝わってくる

チュン
チュン
チュン
チュン

はあ

はあ

はあ





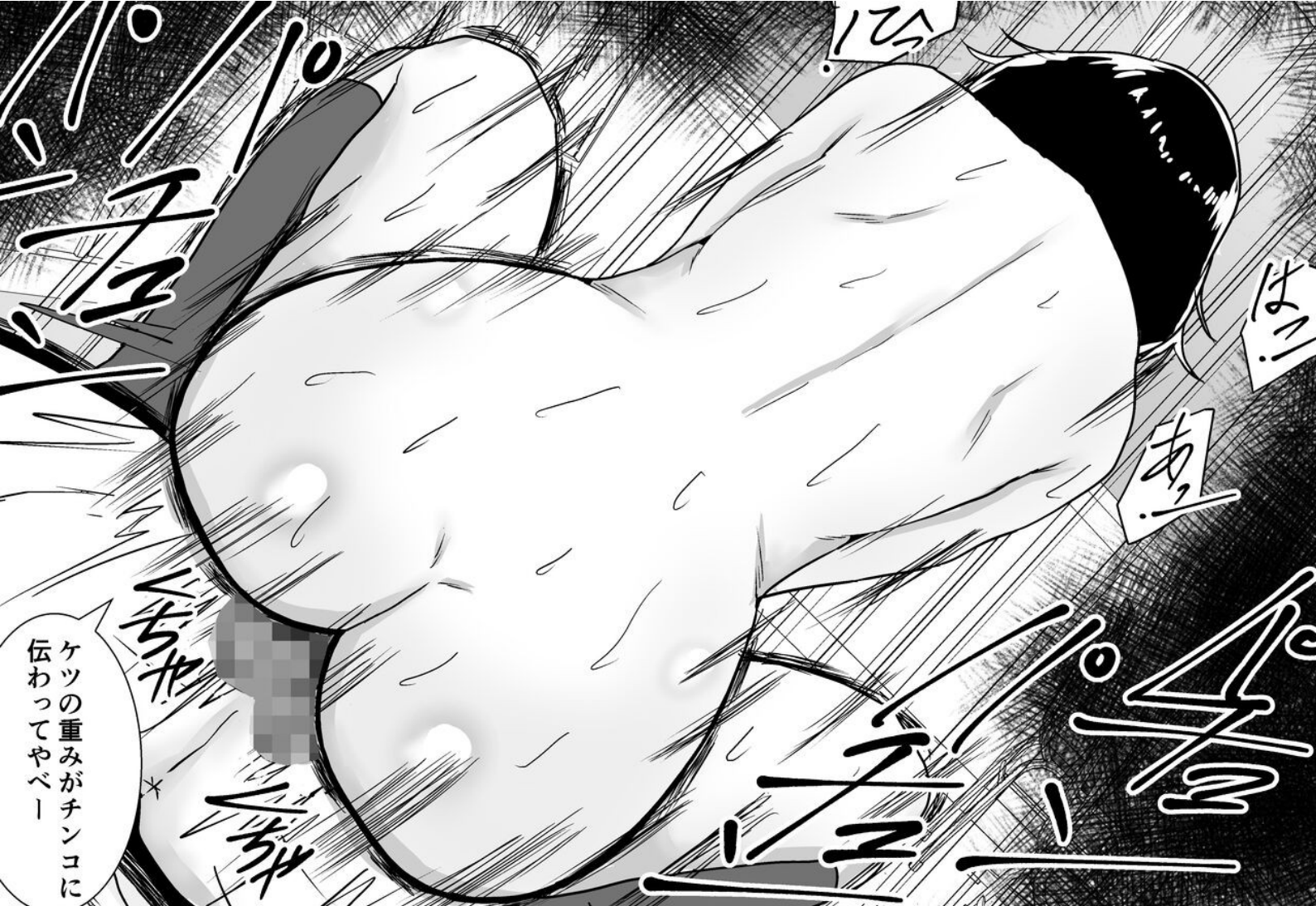
前田さんイク時マンコ
締めるからすぐわかるね
数えただけでも
30回はイってるよ



またまた
無理しちゃって



イ…イってませんし
感じてません！





はあ。

はあ。

はあ。

はあ。

はあ。

おっ！
終わって
あっ！

それからも
彼は、あらゆる体位で、
私を求めてきました。

腰が止まんねー
こんなに飽きない
体初めてだよ！

ぐん



私は、彼の底知れぬ性欲に
抵抗できず

今、自分から腰振って
きたよね!?

あ、あ、あ

おおお

ふっ
振ってなんかっ!



体を、弄ばれ
続けました

マン汁シャワー浴びてるね！
すげー体液と混ざっていらしい
匂いぶちまけて、
前田さんってドスケベだね！

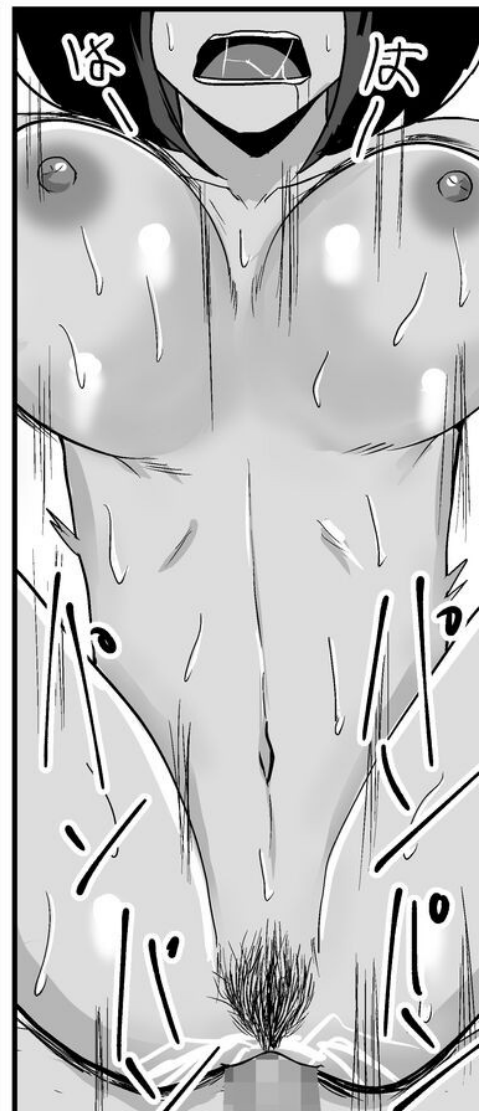
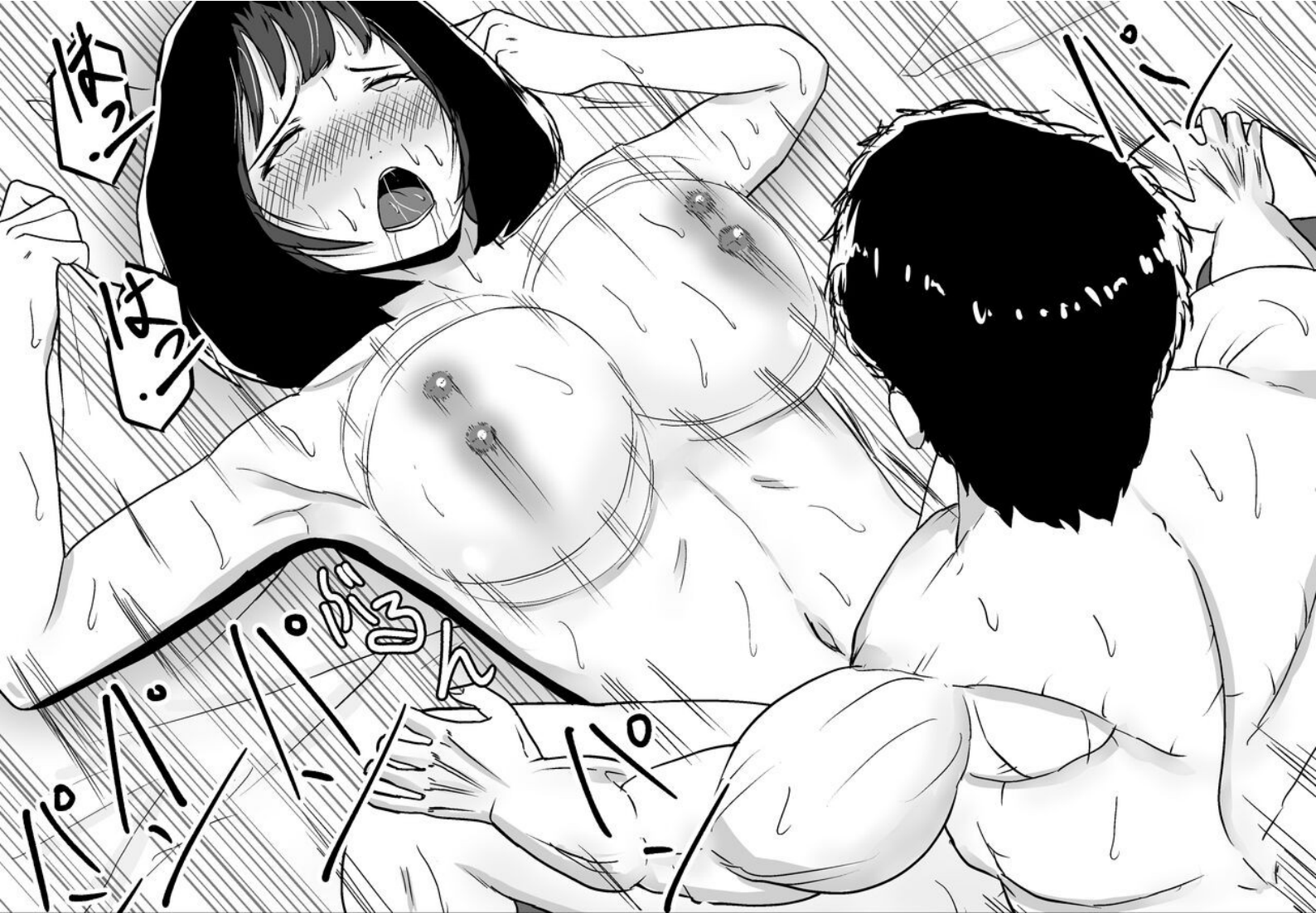
そっそんな
なんっ！こっ
あっ！あっ！

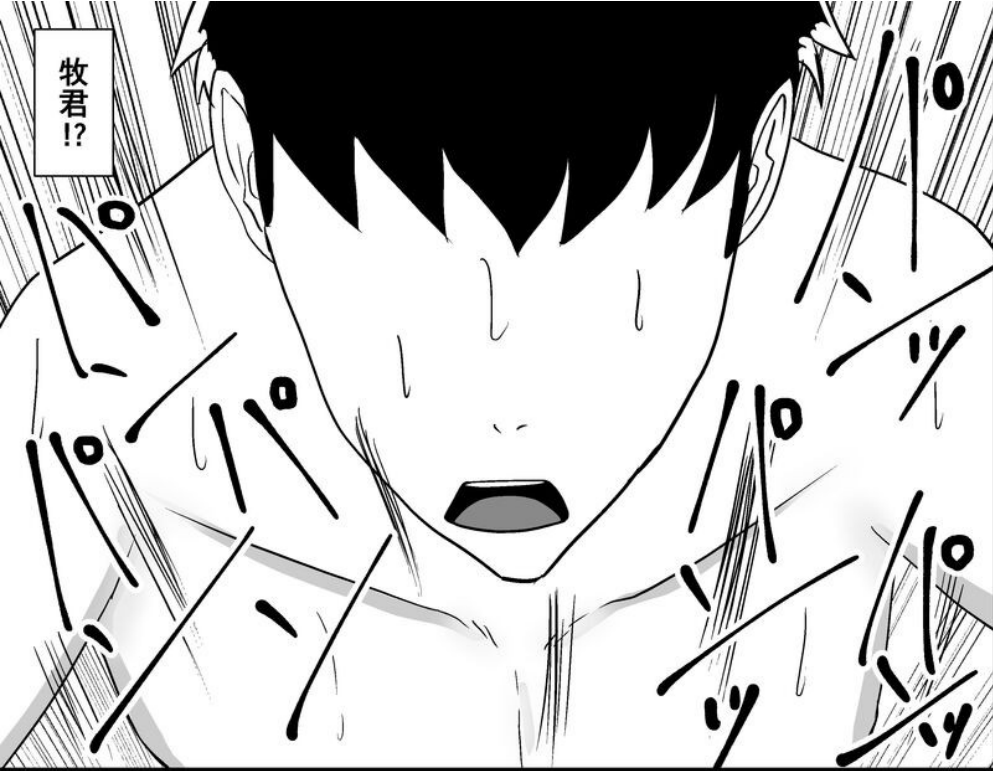
そっそんな！
あっ！あっ！

休みなく続く行為の中、
徐々に意識が飛ぶよう
になりました



アナルがヒクヒクいって
俺のチンコを歓迎してくれてるよ
前田さんは、もう俺の体なしでは
生きていけないね











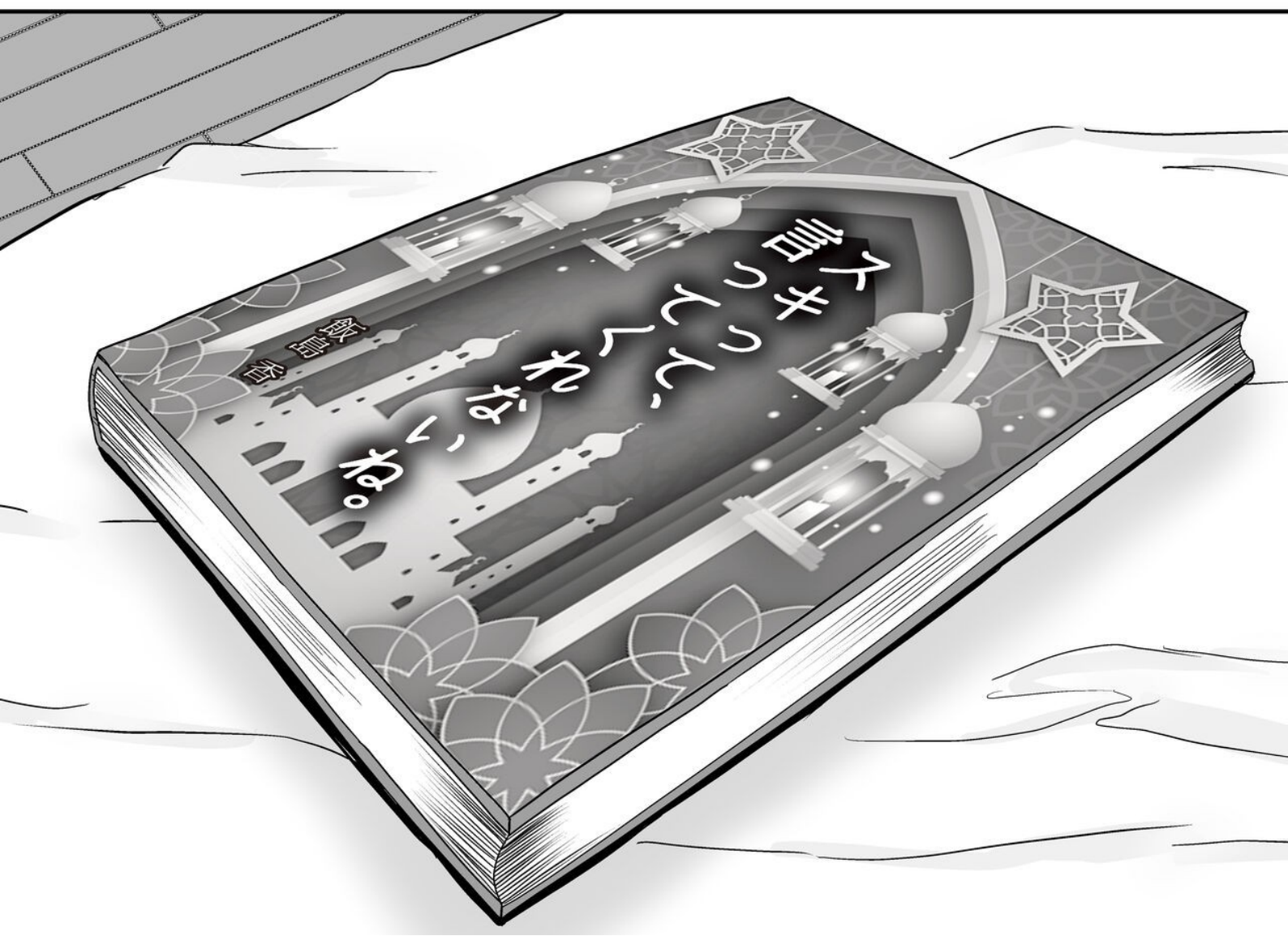
あなたじゃない



じゃあ……部活行ってくるよ
スキだよ……果穂。



その言葉は、あなたに言っ
て欲しくない
…………ごめんなさい、牧君…………



この度は、『スキって、言ってくれないね』を
お買い上げ誠にありがとうございます。

初めての漫画で最初は、どうなるかと不安でしたが、
なんとか完成できて嬉しく思います。
まだまだ未熟ですが、精進いたします。

本当は、お買い上げ頂いた皆様お一人、お一人に、
お礼を申し上げたいのですが、
ご購入された方がわからないので、
こちらでお礼を言わせてください。
本当に本当にありがとうございました！
今後とも、何卒よろしくお願い致します。

すめるすらいく

※18歳未満の方の購入及び閲覧、無断転載、アップロードを禁じます。

発行 すめるすらいく

twitter <https://twitter.com/SmellsLike19>

Fantia <http://fantia.jp/fanclubs/123934>

pixiv <http://pixiv.net/users/13896656>

Reproduction is prohibited.